

令和6年度小平市立花小金井小学校～「全国学力・学習状況調査」結果概要～

1 調査目的・対象

児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、今後の児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるための調査です。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等、また、知識・技能を実生活の様々な場面で活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関することを児童が答える調査です。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関することを児童が答える調査です。

3 各教科の調査結果の分析

【国語】

状況の分析

情報の扱い方に関する事項の正答率は全国平均より6ポイント高く、書くことに関する事項の正答率も全国平均と比べ5ポイント高かった。各項目において全国平均を上回っているが、短答式の正答率が全国平均より4ポイント低かった。

課題

我が国の言語文化に関する事項の無回答率が15パーセントであった。分析の結果、作文や文章の読解に時間がかかり、最後の問題までたどり着いていないことが分かった。今後、文章を読み取る力をはぐくむ必要がある。

学校で取り組む具体的な改善策

国語の授業では、正確に読み取ることはもとより、より早く読み取るためのポイント、キーワードに着目した方法を重視した指導を合わせて行う。宿題等で日記を書くよう指導し、自分の考えを書くことに慣れさせていく。そしてどのように書くとよいのか指導をする。また読書月間に活用して、読書を推奨するとともに、様々なジャンルの文章量が多い本に取り組ませる。

【算数】

状況の分析

平均正答数は都、全国の平均を上回っている。全問正答、15問正答の割合が全国平均を大きく上回っており、学習内容の定着が見られる。観点別に見ても都、全国平均を5ポイント上回っている。

課題

領域、問題形式でも全国平均を上回っているが記述式の正答率が都平均とそれほど変わらなかった。自分の考えを数値や式を使って表現したり、論理立てて説明したりすることが苦手な傾向が見られる。

学校で取り組む具体的な改善策

問題解決型の学習を日々行い、自分の考えを図や式、言葉で表現する機会を多くもたせる。それを友達に伝え、全体で考えを共有して深めていくことを繰り返し、論理立てて問題を解決することに慣れさせていく。また様々な表現方法に触れる機会を増やすために、良い考えが書かれたノートを掲示し、全体で共有する。

【質問紙】**状況の分析****課題**

学習意欲が高く、様々な問題に対し前向きに取り組んでいるとともに何とかして問題を解決しようと工夫する姿が見られる。解決にあたって本で調べたり、ICT 機器を活用したりし、より良く解決する手段を選択することができる。自己肯定感も高く、地域に貢献したいとする姿も見られる。

生活習慣が不規則な児童が一定数おり、家庭と協力しながら改善を図る必要がある。またいじめは、どんな理由があってもいけない、と思っていない児童が数名おり、懸念事項である。また他教科に比べ英語の学習に否定的な割合が大きく、学習する意味を十分理解できていない児童もいる。

学校で取り組む具体的な改善策

生活習慣やいじめに対する指導を強化するとともに英語の授業内容を見直し、児童が主体的に取り組みたいと思えるような授業改善をするとともに、生活場面につなげたり、国際理解教育と関連付けたりすることにより必要感をもたせる必要がある。